

## ④ 若手教員のためのスキルアップ講座

実践的・体験的な研修を実施し、若手教員の情熱・指導力・総合的な人間力の向上を図ることを目的として講座を行った。

開催日 平成28年8月1日(月)

### 道徳教育実践講座(小・中・特・高教員対象)

講師 日本道徳教育学会近畿支部 支部長 行本 美千子 氏

#### 【内容】

- 1 指導資料『『特別の教科 道徳』の全面実施に向けて』を活用して
  - (1) 道徳的価値の自覚の構図
  - (2) 教材分析シートを使った教材研究
  - (3) グループによる模擬授業
- 2 ねらいにせまるために
  - (1) 中心発問の重要性
  - (2) 対話する(受容する・さらに問う(問い返し))
- 3 主な教材(資料)
  - (1) ブラッドレーのせい求書
  - (2) ヒキガエルとロバ
  - (3) 手品師
  - (4) 一冊のノート
  - (5) ネパールのビール



### 幼稚園保育教育研究講座①(幼稚園教員対象)

テーマ 「幼児の遊びをどのように支えるか」

講師 教育企画課 矢田 貴美代 副主幹  
総合教育センター 政野 孝子 指導員

#### 【内容】

- 1 環境を通して行う教育について
  - (1) 教師の意図、教育的意図が仕組まれた環境
  - (2) 5領域を意識した保育室環境の構成
- 2 遊びを通しての指導について
  - (1) 幼児の興味・関心をもとにした遊び
  - (2) 教師の意図した遊び
- 3 遊びを支える
  - ・直接的・間接的に子どもに関わり、子ども同士をつなぐ
- 4 秋の保育について
  - ・どんぐりを使った遊びの展開
- 5 2学期に向けて



**ライフスキル講座（幼・小・中・特・高教員対象）**

**テーマ 「レジリエンシー（精神的回復力）を育てるライフスキル教育」**

**講師 伊丹市教育委員・神戸大学大学院教授 川畑 徹朗 氏**

**【内容】**

- 1 セルフエスティームについて
- 2 グループワーク
  - (1) 自分の性格を表す言葉について
  - (2) お互いを紹介しあう
- 3 DVD視聴
  - (1) 薬物依存とセルフエスティームの関係について
  - (2) 薬物依存からの復帰におけるセルフエスティームの重要性について
- 4 レジリエンシーについて
- 5 グループワーク
  - (1) ストレスを感じるものについて
  - (2) ストレスを受けたときの反応について
- 6 レジリエンシーの高い子どもを育てるために



**冒険教育講座（幼・小・中・特・高教員対象）**

**テーマ 「冒険教育を活かした仲間づくり」**

**場 所 稲野小学校**

**講師 総合教育センター 水津 和雅 指導主事**  
**宮崎 大樹 指導主事**

**【内容】**

- 1 冒険教育の理念について
- 2 室内型冒険教育
  - 「ネームトス」「信頼ゲーム」「フープリレー」
  - 「みんなのつかれ」「キャッチ」「人間イス」



### 生徒指導実践研修講座(中・特・高教員対象)

講師 総合教育センター 岡本 光子 コンサルタント

#### 【内容】

- 1 生徒指導体験活動
  - (1) 指示の出し方について
  - (2) 生徒にとって話しやすい位置とは
  - (3) 適切な近づき方
- 2 事例研究 ～どのような指導が必要か～
  - (1) 個人ワーク
  - (2) グループ協議
  - (3) グループ毎の発表
- 3 生徒指導のポイント
  - (1) 必ず防がないといけないこと
  - (2) 気を付けるべきこと
    - ・事実確認
    - ・組織的な対応
    - ・指導の分担



### 幼稚園保育教育研究講座②(幼稚園教員対象)

テーマ 「幼稚園サポートを通して若手教員に伝えたいこと」

講師 学校指導課 山下 邦子 指導員  
足立 恵子 指導員  
和田 法子 指導員

#### 【内容】

- 1 保育の正解を求めて悩まない
  - ・目の前の子どもにとって、少しでも「できた」「わかった」「またやりたい」という気持ちを持たせる
- 2 育てたい目標を持とう
  - ・「こんなクラスにしたい」という希望や目標を持って日々の保育に置き換える
- 3 1学期の保育について
  - ・自分の保育を振り返る
- 4 2学期へ向けて
  - ・秋からの保育について見通しを持つ



## ICTを活用した教科指導研修講座(小教員対象)

講師 総合教育センター 中田 智継 指導主事  
教育情報化グループ 西中 明人 指導員

### 【内容】

- 1 ICTを活用した教科指導について
  - (1) 小学校学習指導要領から
  - (2) ICTはどんな時に使えるのか
  - (3) ICTの種類
  - (4) 「わかる」授業作りのために
    - ・教師が使う活用例
    - ・子どもたちが使う活用例
  - (5) まとめ
- 2 グループ討議
  - (1) ICTの活用実践例
  - (2) 目的に合わせた使い方
  - (3) 発表

